

❁ 飛鳥中学校区

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にする心を持ち、自ら考え主体的に行動する子ども

▶ 飛鳥中学校区 地域教育協議会

地域・子どもの現状	<p>本校区では地域教育協議会がコーディネートしながら、飛鳥小学校・飛鳥中学校それぞれの事業での児童・生徒・教職員の交流や、地域の大人と子どもとの交流を積極的に推進している。そのことで、子どもたちはのびやかに育ちながら、自然に地域の中での自分自身の存在意義を自覚し、また周囲の人間とのコミュニケーション力を育てることができてきた。また、地域の方々に向けてはコミュニティカレンダーに代表される各種方法において、学校園の活動を紹介し、積極的に学校園の活動に関わってもらい、地域全体がより豊かなコミュニティになるように活動している。</p>
伸ばしたい子どもの具体的な力	<p>飛鳥校区で育ち、この校区の子どもたち同士や大人たちと関わることを通して、地域を知り、自分を知り、将来に向けての夢を育て、その実現に向けて努力ができるために必要な基本的な力（自尊感情・コミュニケーション力・学力など）を育てる。また、そうして育てた力を、地域の中で積極的に発揮し、地域づくりの一員となる自覚を育てる。</p>
取組内容	<p>子ども・家庭・教職員・地域がつながり、共に育つために事業展開。具体的には、これまでの事業を統合・整理し、地域と子どもがより密に、かつ多角的に連携できる場や機会を設ける。生活実態調査などによる子どもたちの実態把握。コミュニティカレンダーづくりや学校を中心とした行事や地域行事での積極的な交流と子どもたちに地域での役割を担わせることで、地域に役立つ意識を育てる。地域に向けた積極的な情報発信によって、学校に協力してもらえる人材を増やしていく。</p>



▶飛鳥中学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>一小一中の強みを生かし、小中をひと続きとして、地域の方々と連続して関わりながら、多くの経験を積み重ねることを大切にしている。その過程を通して、自己を知り、自己の考えを育ててきている。また、この地域で自分たちが大切にされてきているという意識も次第に育ってきている。その上で、中学校では、さらに、地域の見守りによる学習支援や、ささえ隊による見守り、また各種行事においては地域の方と一緒に取り組むことを通して、自己肯定感の醸成と、そこから自分が主体的に行動しようとする力も次第に育ちつつある。また、教員も地域との関わりの中で、スキルも高まりつつあり、その結果として、生徒・教師・地域が前向きな人間関係でつながり、前進的な雰囲気をつくることができている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>この地域で育てられた力を基礎にして、そこからさらに自分の生き方を考え、自分の将来に向けてしっかりとした展望をもち、その実現に向けて、今何をすればいいのかを考え、行動に結びつけられる力を育てていきたい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>◇地域の方々と積極的に関わる機会を設け、その中で地域の大人たちに見守られながら、安心して生活できる居場所・自分を表現できる居場所づくりをすすめる。 ◇地域・学校・家庭が一体となって教育力を高め、飛鳥で育つ子どもたちが、社会に主体的に関わり貢献できる力を育てる。</p>



▶飛鳥小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>地域は、自然にも文化遺産にも恵まれた環境にある。また、地域には様々な団体が地域のために意欲的に活動し、学校に対する思いも強く、たいへん協力的である。本校は、創立147年を経た伝統校であり、小中一貫教育モデル校として、小中学校の教員が校区の課題を共有し、キャリア教育を柱とした「規範意識」「学力」の向上に取り組んでいる。また、ユネスコスクール加盟校として、世界遺産学習や人権教育を中心に据えたESDに取り組んでいる。児童は、こうした環境の中、多くの「ヒト」「モノ」「コト」と出会い、豊かな人間関係を作ることで、地域を愛する心情が育ってきている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>よりよい自分と社会を形成するために、地域をしっかりと見つめ、持続可能なよりよい地域づくりをめざして考えたり行動化したりすることができる力</p>
<p>取組内容</p>	<p>事業に位置付けられている学校行事や学年の世界遺産学習事業において、地域の方々がゲストティーチャーとして児童を指導したり、ボランティアスタッフとして児童と一緒に活動したり、また、地域の方々を学習発表会に招待するなどして、児童が地域の方々と出会う機会を設定し、地域に根差した学習活動が展開できるようにする。</p>

